

2022年度事業報告書

(令和4年04月01日から令和5年03月31日まで)

1. 事業の成果

2023年4月には、コロナの規制も緩和される予定ときいているが、今年度も前年同様の規制の中で活動を行い、交流センターでの「健康づくり講座」が中心となる年度であった。本年は、「高齢ドライバー講習」を新たに数回行い、「健康づくり講座」のプログラムにも”誤動作防止訓練”なるものを取り入れ、高齢ドライバーの事故防止に繋がる反復教育を行っている。回を重ねる毎に集中力や反応の向上が見られるので、今後も継続して行い、更に咄嗟の判断と体の反応が向上するようなプログラムを考えていきたい。今年度も訪問による活動は行えず、収益になる活動は行えなかったが、給付金に助けていただき、助成金による活動は、何とか計画を達成出来た。受取助成金の詳細は下記の通り。

・富士宮市NPO等市民活動推進事業	100,000円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・明日の日本を創る会 全国運動助成	95,456円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・ふじのくに未来財団 トヨタハイブリッド基金	290,000円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・太陽生命 NPO等が行う事業への助成	300,000円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・沼津市社会福祉協議会歳末助け合い運動	50,000円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・静岡県共同募金会 NHK歳末助け合い助成	100,000円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・富士宮市NPO等市民活動推進事業	150,000円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・雇用調整給付金	1,639,764円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・中小企業庁事業復活支援金	981,499円	(高齢者健康づくり事業の補助金)
・くらし環境部 物価高騰補助金	88,000円	(高齢者健康づくり事業の補助金)

前期、助成していただいた日本郵便の事業報告に不備があり、260,000円の返還金が発生した。今期も上半期は訪問活動が行えないと予測しており、助成金を頼る厳しい運営となる見込みであるので、応募要項をしっかりと認識して応募し、事業報告に不備等発生しないように取り組んでいきたい。今期より始めた「車中生活者見守り活動」と「高齢ドライバー講習」は特に協賛していただける企業や行政を探し、質と回数向上を図りたいと考えるが、大手車メーカー等競合相手が講習会を行うようで、当団体への助成採択は無いものとする。今後は、現在の講座参加者の賛助会員率を上げ、年会費や寄付金を増やすことが必須となるので、一般参加者との差別化を図り、当団体の活動に賛同していただける参加者を募り今後の活動に繋げて参りたい。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日数	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数	支出額 (単位:円)
①運転免許証自主的早期返納呼びかけ事業	音楽活動訪問先にて早期の運転免許証の自主返納についての啓発活動	4回/年	寄り合い処等	8人	56人	251,840
②高齢者健康づくり事業	健康づくり講座	23回/年	寄り合い処 交流センター 地域学習センター	75人	638人	3,777,596
	工作・おやつレクリエーション	2回/年	交流センター	4人	25人	251,840
	塗り絵展示会	1回/年	文化会館	3人	不特定多数	251,840
	高齢ドライバー講習	4回/年	交流センター	15人	123人	251,840
	車中生活者見守り活動	20回/年	道の駅・SA等	40人	不特定多数	251,840
③福祉施設のイベント企画及び指導事業	歌声サロン等研修会の開催 ホームページ等による周知啓発活動	未実施 随時	法人事務所	2人	不特定多数	13,200

5,049,994